

2026年5月28日

三次元網状繊維構造体「ブレスエアー®」は販売開始30周年を迎えました

東洋紡エムシー株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長執行役員 CEO:藤井 尚毅、以下「当社」)が製造販売する三次元網状繊維構造体「ブレスエアー®」は本日、販売開始から30周年を迎えました。併せて、記念ロゴを制定いたしましたので、お知らせいたします。



「ブレスエアー®」の30周年記念ロゴ

「機能性を持ちながら、人にも環境にもやさしいクッション材を作りたい」

こうした思いから、1990年代初めに「ブレスエアー®」の開発がスタートしました。1996年5月28日、ウレタンに替わる新しい高機能クッション材「ブレスエアー®」として試験販売を開始しました^{※1}。現在では、主力用途である寝具のほか、新幹線の座席シート、動物用マットレス、防災用寝袋など、多種多様な場面で用いられています。

記念ロゴは、「30」を下支えするラインを配することで、皆さまの生活に寄り添い続けてきた「ブレスエアー®」の姿をイメージしたものです^{※2}。当社はこの30周年を一つの節目と捉え、これまで培ってきた素材・設計技術を生かしながら、さらなる用途開拓と価値提案を進めてまいります。

※1 1996年5月28日に「ブレスエアー®」の販売開始をお知らせするプレスリリースを発表しました。

※2 「ブレスエアー®」30年の歩みは、[こちらのウェブサイト](#)をご覧ください。

■ 不織布マテリアル営業セクション 生活資材営業ユニット長 足立信哉の言葉

事業は小さな一歩からのスタートでしたが、当時の担当者たちの熱意と、「ブレスエアー®」がクッション材にもたらした新たな価値により着実に成長し、販売開始から30年を迎えることができました。これまでご愛顧いただいたお客様さま、そして支持して下さった多くの消費者の皆さまに、心より御礼申し上げます。今後も、より価値の高い製品とサービスを提供できるよう、一層努力を重ねてまいります。「ブレスエアー®」のさらなる進化にご期待ください。

■ 「ブレスエアー®」とは

ゴムのような弾性を有するエラストマー繊維が、多数のループを描きながら三次元方向につながった構造体です。高い体圧分散性、通気性、軽量性、耐久性を備えるクッション材として幅広い分野で採用されています。



「ブレスエアー®」

以上

このニュースリリースに掲載されている内容は、発表日時点の情報です。発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■ お問い合わせ先

東洋紡エムシー株式会社 経営企画部 企画・広報グループ Mail : info_tmc@toyobo-mc.jp Tel : 06-6348-3310